

オリジナル新品種（モモ） 「ふくあかり」について

1 「ふくあかり」の位置づけ

「ふくあかり」は、本県の主力品種「あかつき」の前に収穫でき、早生種としては大果で日持ち性に優れる食味の良い白肉種である。

本県オリジナル品種による7月からのリレー販売を強化するため、大果で導入しやすい本県オリジナル品種の新たな銘柄として普及拡大を図る。

2 育成経過

平成11年	母「川中島白桃」×父「モモ福島8号（♀ゆうぞら×♂ちよひめ）」を交配
平成12年	播種、実生個体を育成し定植
平成14年	初結実、1次選抜開始
平成17年	モモ福島11号を選抜
平成18年	現地試作開始
平成24年	栽培特性及び普及性を調査し育成終了

3 品種の特性

- (1) 収穫期は7月下旬で「暁星」よりやや遅く、果重は250～300グラムと早生種としては大果である。
- (2) 果形は円形で、玉揃い、着色が良好である。
- (3) 糖度は12～14度以上で、食味は良好である。

